



杉田 勝典（公明党）



小麦高騰で米粉の利活用拡大を目指しては！

問／小麦高騰で米粉利活用のチャンスではないか。
答／米粉専用品種の改良や製粉技術の開発で、米粉活用の新商品の開発や起業が進む可能性もある。

「クラウド型電子契約サービス」を導入しては

問／契約事務をオンラインで完結する取組みを。
答／導入の費用対効果など、県及び県内市町村とのシステム共同利用も含め、検討を進める。

「地域情報プラットフォーム」を開設しては

問／農業・観光・健康等のメニューを利用できるデジタルシステムを開設してはどうか。
答／民間業者や大学等と連携し、産学官による推進体制構築やデジタル人材確保・育成を図る。

地元産木材の供給増に向け、上越産材の輸出も

問／地元木材関連業者等との一層の連携を。
答／「上越地域県産材需給協議会」を中心に地元産材の供給増加に取り組んでいる。販路拡大も重要であり、あらゆる可能性を探っていく。

道の駅・よしかわ杜氏の郷の活性化の戦略を

問／活性化を目指し、戦略を模索しては。
答／頸北地域の特産品の販売強化も含め、周辺施設と一体となった誘客を進め、道の駅の更なる魅力向上に努める。



高橋 浩輔（みらい）



地域生活支援拠点等の更なる機能強化を！

問／現時点の拠点をどのように捉えているのか。
答／知的と身体の分野は、現在の4事業所が得意とする。精神を得意とする事業所は少ない。

問／今後の機能強化の見通しはどうか。
答／事業所の増が必要か、今後研究していく。

障害のある方の「親亡き後」への備えは？

問／障害のある方の「親亡き後」を考えるため、家族、事業所、行政の三者で継続的に話し合う場を設けることはできないか。
答／自立支援協議会及び部会の中で協議は可能と考えており、取組みを継続する中で、場の設置について検討していく。

上杉謙信公の節目の年に向けた取組状況は？

問／計画の全体像が明らかになるのはいつか。
答／今年度中は難しいが、着手できることについては少しでも早く着手したい。

問／取組みへの意気込みは。
答／初めて上越に來た時、この地に春日山城があったことに驚いた。この感動を全国と世界に伝えてゆけるよう全力を尽くしたい。

※地域生活支援拠点等とは、障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう支援する機能を持つ施設等のこと。



橋本 洋一（久比岐野）



映画ロケなどを活用した地域振興は

問／当地で撮影が行われた「突入せよ！あさま山荘事件」や「189（いちちはやく）」が上映されたが、撮影支援や映画を利用した地域活性化、PR活動など当市におけるフィルムコミッションの取組みはどうか。
答／フィルムコミッションは、当市の知名度向上や観光誘客、撮影スタッフの宿泊など様々な効果が期待されることから、平成18年に「上越フィルムコミッション」を設立したところであり、映画やテレビドラマ、CM撮影などの誘致に取り組んでいる。また、当市で撮影が行われた映画の中で、制作会社から了承が得られた作品は、「上越観光Navi」で紹介して、誘客促進に努めている。



市としては、引き続き、日本海に沈む夕日や日本の原風景である棚田などの豊かな自然環境や雁木をはじめとする当市特有の歴史などを強みとして発信し、ロケ地に選ばれるよう上越観光コンベンション協会や新潟県フィルムコミッション協会などと連携して取り組んでいきたいと考えている。